

グッドマン・イン・アフリカ (1994)

A GOOD MAN IN AFRICA

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 95分
初公開日 1995/02/18
公開情報 ヘラルド

【解説】
いかにもコネリー主演作のように宣伝されていたが、彼は脇にまわっており、僻地医療に勤めるその役柄もさして感動的でもない。不本意なアフリカ小国への赴任となった英国外交官が主人公。その上司であるJ・リスゴーは出世路線への返り咲きを虎視眈々と狙っているが、暢気な性分の彼は、愚痴りながらもそのエスニックな暮らしを楽しみ、既に現地妻も囲っているーというあんばい。が、その国の大統領選にうって出た、さる重要人物にうまく取り入り石油の採掘権を得よ、との上司の指令。親元にやってきた上司の娘（J・ウォーリー＝キルマー）に一目惚れした彼としては、ここは一つ未来の義父に大いにゴマをすっておかなくてはーと、柄になく張り切ったが……。先述の通り、このL・ゴセット・Jrの大物に近い人物としてコネリーは浮上し（彼を唯一ギューツと言わせられるのだった）、その生き方が主人公を啓発するのだが、この辺りの描写まで他と同じでだらだらと喜劇調で、全く焦点の定まり切らぬ凡作となった。いつもの差別的ギャグ（葬式の様式をめぐるカルチャー・ギャップを笑う）にうんざり。浮気な現地妻とその兄と称する愛人（実は殺し屋）が唯一笑わせてくれる、英国的生ぬるさ全開のボンクラ・コメディ。監督がB・ベレスフォードだと聞けば、少なからぬ人が、さもありなん、と頷くような映画だ。

【クレジット】		
監督	ブルース・ベレスフォード	Bruce Beresford
製作	ジョン・フィードラー	John Fiedler
	マーク・ターロフ	Mark Tarlov
原作	ウィリアム・ボイド	William Boyd
脚本	ウィリアム・ボイド	William Boyd
撮影	アンジェイ・バートコウィアク	Andrzej Bartkowiak
音楽	ジョン・デュプレ	John DuPrez
出演	コリン・フリールズ	Colin Friels
	ショーン・コネリー	Sean Connery
	ジョン・リスゴー	John Lithgow
	ダイアナ・リグ	Diana Rigg
	ルイス・ゴセット・Jr	Louis Gossett Jr.
	ジョアンヌ・ウォーリー＝キルマー	Joanne Whalley-Kilmer
	サラ＝ジェーン・フェントン	